

## 平成 27 年度 西区長マニフェスト

西区長 眞島 幸平

## マニフェスト

「都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち」を目指し、人と人とのつながりのなかで、区民が健やかにいきいきと、安心・安全に暮らせるまち、そして、誰もが学び合い、その学びを地域に活かせるまちづくりを推進します。

また、農商工が連携して地場産農産物のブランド化を推進し、生産及び消費の拡大を図るとともに、商店街の活性化や都市と農村の一体感の醸成に繋げていきます。そして、西区の豊かな自然・快適な住環境を活かし、行ってみたい、住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに努めます。

さらに、区民と区役所が協働で地域課題に取り組み、区民と職員が共に笑顔になれるまちづくりに取り組みます。

この方針のもと、西区は今年度、次の 5 つの取組を重点的に実施します。

1. 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。
2. 都市と農村が融合するまちづくりを推進します。
3. だれもが学び合える学術と文化のまちづくりを推進します。
4. 豊かな自然と快適な住環境を大切にするまちづくりを推進します。
5. 地域と区役所が共に歩むまちづくりを推進します。

## マニフェスト実現に向けた取り組み

## 1 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。

現状 (課題)	<p>乳幼児から高齢者まで、毎日をより健やかに、安心して暮らしたいという思いは、区民共通の願いです。</p> <p>しかし、一人暮らし高齢者の増加や核家族化の進行、プライバシーの重視等により地域のつながりが希薄化し、社会から孤立する高齢者や子育て世帯が増えています。</p> <p>また、超高齢社会を迎え、区民が健康で健やかに暮らしていくためには、健康寿命の延伸を図ることが重要です。</p> <p>さらに、安心で安全なまちづくりとして、区内には低地部が多く存在していることから、津波や洪水などの災害から身を守るため、地域特性に応じた情報伝達手段や避難体制を整備する必要があります。</p>	
	課題 解決策	<p><b>目標</b> 平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</p> <p>高齢者や子育てに不安を抱える親に対し、地域ぐるみで見守り、助け合う仕組みづくりが必要です。</p> <p>保健師などによる高齢者への訪問を継続実施するとともに、地域団体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と協働で、地域で高齢者を支える活動に取り組みます。</p> <p>また、子育て支援体制や子育てネットワークの充実を図ります。</p> <p>超高齢社会において、地域に密着した健康づくりと仲間づくりができ、健康寿命を延伸できるよう、地域や関係機関と連携した健康・介護予防対策を進めます。</p> <p>さらに、洪水や津波浸水などの災害に備え、引き続き、地域と協働で地域の避難マップの作成に取り組むなど、地域防災力の強化を図ります。</p>

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等が安心して生活できる仕組みづくり</li> <li>・地域で取り組む健康づくりと介護予防</li> <li>・地域と連携して取り組む子育て支援</li> <li>・地域と協働で取り組む地域の避難マップづくり</li> </ul>
-------------	--

主な取組の指標達成状況	設定数	7	達成数	5
<b>取組結果</b>	<p>高齢者等が安心して生活できる仕組みづくりについては、高齢者世帯への訪問数等の目標は達成しましたが、高齢者等あんしん見守り活動事業（実施自治会数）は目標数に至らず、また、高齢者を地域で支えるモデル事業の実施団体数は、支え合いのしくみづくり会議（協議体）の設立を優先したことから、全市的にモデル事業の募集を行わなかったため、目標を達成できませんでした。</p> <p>地域で取り組む健康づくりと介護予防、地域と連携して取り組む子育て支援の取組みについては、講習会の開催・参加者数など、目標をすべて達成しました。</p> <p>地域と協働で取り組む地域の避難マップづくりは、広範囲な地域での分割を行い、目標のマップ数作成を達成しました。</p>			
<b>今後の方針</b>	<p>高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、現在、地域の支え合いの仕組みづくりとして、区レベルの第1層の協議体を設立しましたが、今後は、コミュニティ協議会などを構成員とする日常生活圏域の第2層の協議体設立に向けた取組みを進めるとともに、見守り活動や生活支援のモデル事業を実施する団体への支援を図っていきます。</p> <p>孤立の恐れのある高齢者世帯については、民生委員や地域包括支援センターなどと連携し、引き続き訪問活動を行い、必要な支援に結びつけていきます。</p> <p>健康寿命の延伸と介護予防を進めるには、自らが率先して健康づくりに取り組むことが重要であることから、高齢者体操自主活動グループの育成や、自治会や地域の茶の間などへ出向いての健康づくりの取組みを一層進め、これらの取組みにより、日常生活に根付いた健康的な生活習慣の定着を推進していきます。</p> <p>子育て中の親の支援については、募集方法などの改善により、各種プログラムに多数の参加をいただきましたが、今後は、さらにプログラムの会期数の増加や、乳幼児期から小学生までの切れ目ない子育てプログラムを提供し、健全な子育てを支援していきます。</p> <p>また、地域防災力の強化に向け、地域の避難マップ作成を引き続き取り組み、単独自主防災組織の結成についても、防災活動のための資機材の提供など、支援を継続していきます。</p>			

2 都市と農村が融合するまちづくりを推進します。			
現状 (課題)	<p>西区は都市と農村がバランスよく共存しており、良好な住宅地や商業施設が集積するなか、「くろさき茶豆」をはじめとする良質で魅力的な農産物に恵まれています。</p> <p>西区の特産農産物については、市内での知名度が高くなっていますが、県内外への更なる知名度の向上及び消費拡大を進める必要があります。</p> <p>また、「大規模農業改革拠点」として「特区」に指定されたことも活用し、農商工連携による特産農産物のブランド化を進めるとともに、商店街の賑わいづくりにつなげ、人の交流、物の交流をさらに活性化する必要があります。</p>		
課題 解決策	<table border="1"> <tr> <td style="vertical-align: top;">目標</td> <td>平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table> <p>農業まつりなどによる地場産農産物の PR をすすめながら、首都圏を含めた県内外への情報発信及び販売促進に取り組みます。</p> <p>農商工連携による「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」などの特産農産物の高付加価値を進め、関係団体が一体となって商店街の活性化にもつなげるとともに、「特区」を活用した 6 次産業化を推進します。</p> <p>また、農業まつりなど交流の場を提供することにより、都市と農村の一体感を醸成し、生産と消費をつなぐ地産地消を推進します。</p>	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での西区特産品の知名度向上と消費拡大</li> <li>・西区特産農産物のブランド化による生産及び消費の拡大と商店街活性化</li> <li>・農業まつりによる都市と農村の交流推進</li> </ul>		

取組 結果	<table border="1"> <tr> <th>主な取組の指標達成状況</th> <th>設定数</th> <th>5</th> <th>達成数</th> <th>5</th> </tr> </table>	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	5
	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	5	
首都圏向け PR の取組回数、イベントにおける「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」等の販売量、農業まつりの来場者数等、すべての目標を達成しました。						
今後の 方針	<p>ネスパスや百貨店などで首都圏向けに「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」などの PR や販促を拡充しながら進め、「くろさき茶豆夏の陣」を関係団体と引き続き連携して取組むことで、消費拡大と商店街活性化を図ります。</p> <p>また、農商工連携による「いもジェンヌ」の生産拡大支援や加工商品の開発支援、学校給食での PR に引き続き取り組んでいきます。</p> <p>平成 28 年度からは「食と農の応援室」を新たに組織し、生産者と消費者の交流や地産地消、特産農産物の消費拡大を推進し、食と農を活かした都市と農村の融合を進めます。</p>					

3 だれもが学び合える学術と文化のまちづくりを推進します。			
現状 (課題)	<p>大学など学術研究機関が複数立地する西区の特性を活かし、新潟大学や新潟国際情報大学などと連携し多様な取組みを進めていく必要があります。</p> <p>地域や大学と行政の協働によるアートイベントやコンサートなど、芸術文化活動が定着してきており、新たな文化の創造をさらに支援する必要があります。</p> <p>また、健康志向の高まりなどにより、これまでも様々なスポーツ活動が行われてきましたが、今後も生涯にわたるスポーツ活動を推進していく必要があります。</p>		
課題解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td>平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table> <p>新潟大学や新潟国際情報大学などとの連携を深め、さまざまな学習情報の提供や気軽に参加できる学習の場の確保など、学習活動に参加できる環境づくりを行うとともに、地域と学生をつなぐ事業を進めるなど、取組みの幅を広げていきます。</p> <p>また、新たな文化の創造を支援するため、地域での自主的な活動を活性化し、西区の芸術文化を区内外に発信するとともに、区民の芸術文化意識の向上を図ります。</p> <p>子どもの頃からスポーツに接する機会を提供するほか、誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境を提供し、多世代の健康づくりを推進します。</p>	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な大学連携事業の推進</li> <li>・大学・地域と連携した文化・スポーツ事業の実施</li> </ul>		

	主な取組の指標達成状況	設定数	2	達成数	2
取組結果	<p>西区特産物や観光地を紹介するふれあいカレンダーの作成、内野地区まちづくり人材の発掘・育成事業など新たな連携にも取り組み、連携事業数の目標を達成しました。</p> <p>また、うちの DE アートや暮らしっく広場ほか地域・大学との連携事業により、文化・スポーツ関連事業の参加者・来場者数の目標を達成するとともに、区役所庁舎を活用したミニコンサートにも新たに取り組みました。</p>				
今後の方針	<p>大学との事業連携については、新たな取組みとして、商店街等活性化研究・実践事業の検討をはじめ、今後とも事業効果が見込まれる分野で、積極的に大学連携を促進していきます。併せて、新潟大学が地域とともに進める「学外学修プログラム」にも積極的に関わっていきます。</p> <p>芸術文化意識の向上、多世代の健康づくりの推進では、世界の様々な国の文化に触れながら身近に音楽を楽しむ機会の提供や、子どもをはじめ誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境の提供等により、引き続き、学術と文化のまちづくりに向けた取組みを推進していきます。</p>				

#### 4 豊かな自然と快適な住環境を大切にすまちづくりを推進します。

##### 現状 (課題)

西区は、長い海岸線、佐潟、西川や新川など、豊かな自然環境に恵まれており、「環境を大切にすまちづくり」を推進してきました。

しかし、西川や新川、海岸付近では、ごみの放置や不法投棄が依然として発生しており、環境の改善が求められています。

海岸保安林に拡大する松くい虫被害については、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除などの対策を実施していますが、今後も関係機関との連携を強化しながら、被害を抑えていく必要があります。また、保安林の環境保全を行っているボランティア団体やコミュニティ協議会などの支援を継続することも必要です。

国道 402 号の飛砂対策は、飛砂防止柵の設置や地域住民との協働で海浜植物を植栽し、砂丘地の緑地帯整備を推進していますが、交通障害や住宅地への飛砂被害への抜本的な対策が求められています。

また、魅力的な自然や観光資源を有効活用し、ニーズにあった観光ルートや環境整備により誘客に取り組んできましたが、「佐潟」を中心とした魅力ある観光資源のさらなる情報発信や区内他地域のまち歩きコースづくりをすることにより交流人口を拡大していくことが必要とされています。

##### 目標

平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成

##### 課題 解決策

自治会やコミュニティ協議会、ボランティア団体等と連携して西区全域の環境美化活動に取り組み、より多くの区民、団体に参加してもらうことにより、区民一人ひとりのきれいな西区づくりや環境保全に向けた意識の醸成を図ります。

松くい虫被害を最小限に抑えるため、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除を継続実施するとともに、ボランティア団体やコミュニティ協議会などの保安林保全活動への支援を引き続き行います。また、保安林活動団体育成講座を開催しボランティア団体の育成に努めます。

国道 402 号の飛砂対策は、飛砂防止柵の設置や新潟大学等と連携した抜本的な飛砂対策を検討し、より効果的な対策を地域住民・海岸管理者等と一体となって進めていきます。

また、赤塚地区・佐潟周辺について、「北国街道」沿いにある観光資源や貴重な動植物を育む自然環境を活かし、まち歩きツアーや西蒲区と連携したニーズにあったコースづくりを進めるとともに、区内他地域のまち歩きコースづくりを行い、地域団体やボランティアガイドの協力を得ながら、交流人口の拡大を図ります。

##### 主な 取組

- ・西区全体で取り組む西区一斉クリーンデーへの協力・支援
- ・海岸保安林の保全・育成活動団体への支援
- ・国道 402 号の飛砂対策の実施
- ・「北国街道」沿線の観光資源を活用した観光客誘致
- ・佐潟を活用した自然保護意識の醸成と交流人口の拡大

	主な取組の指標達成状況	設定数	6	達成数	5
取組結果	<p>西区一斉クリーンデーへの参加人数、海岸保安林の保全・育成に向けた活動団体数、国道 402 号の飛砂対策としての人工堤防築造延長は、いずれも目標値を上回りました。「北国街道」沿線の観光資源を活用した観光客誘致については、まち歩きの実施回数 は目標を上回ったものの、ボランティアガイドの案内人数は目標値に届きませんでした。</p> <p>佐潟の自然環境を活かした交流人口の拡大については、ボランティア解説活動の充実 や水と土の芸術祭との連携などにより、佐潟・水鳥湿地センター来場者数は目標を大きく上回りました。</p>				
今後の方針	<p>快適な住環境づくりとして、「西区一斉クリーンデー」は、大人も子供も「自分たちの住む地域を少しでもきれいにしよう」という意識を持っている人が毎年少しずつ増加しており、今後もコミュニティ協議会や自治会等の協力を得て、より多くの参加が得られるよう進めていきます。</p> <p>また、平成 26 年度から実施してきた人工堤防の築造などの国道 402 号の飛砂対策は、一定の効果を確認していますが、今後も大学や国・県と連携して効果の検証を行いつつ、必要な対策を講じていきます。</p> <p>自然環境の保全と活用として、保安林の松くい虫対策は、無人ヘリコプターによる薬剤散布、伐倒駆除を引き続き実施し、ボランティア団体等を支援するとともに、保安林に隣接するコミュニティ協議会等に対する保安林への理解を進めていきます。</p> <p>赤塚地域でのボランティアガイドを活用したまち歩きや西蒲区と連携したツアーの実施により交流人口の拡大を図ることができました。また、新たに実施した黒埼及び内野地域におけるまち歩きも好評を得たことから、引き続き地域の魅力を発信し観光客の誘客に努めます。また、佐潟においては、ラムサール条約登録 20 周年記念事業を中心にさらなる交流人口の拡大と自然環境の保全と活用に努めます。</p>				

## 5 地域と区役所が共に歩むまちづくりを推進します。

### 現状（課題）

区民等と市との協働の要である区自治協議会とともに、地域のまちづくりや課題に取り組んできましたが、地域課題はますます複雑化、多様化しており、区自治協議会とさらに連携して、区の課題解決やまちづくりに取り組んでいく必要があります。

また、多様な人材が地域活動に参画できるよう地域の課題解決に取り組む講座の開催などにより地域活動に関心をもつ人材の育成を進めてきましたが、地域コミュニティ協議会などをはじめとする地域コミュニティでは、活動に参画する人材の確保が課題となっています。

平成 26 年 1 月に新庁舎がオープンし、来庁される方から、職員の接遇や利便性が向上したとの声をいただいておりますが、区政に対する区民の要望が高度化・多様化するなか、職員には、より一層質の高いサービスが求められています。市民サービス向上に終着点は無いため、絶えずチェック&アクションを続ける必要があります。

### 目標

平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成

### 課題解決策

複雑化、多様化する地域課題の解決につながるよう、区自治協議会とさらに連携するとともに、協働の要である区自治協議会の活動がより活性化するよう努めます。

地域課題の発見や解決に取り組む人材の育成を推進するとともに、地域におけるコミュニティ活動への参画につながる仕組みを検討していきます。

また、職員一人ひとりの資質・能力の向上を図るために、「西区役所の顔」である、1 階総合案内の「案内係」の一層のスキルアップに努めるとともに、窓口業務以外の職員に対する総合案内体験研修など、区独自の人材育成メニューを実施します。さらに、「笑顔づくり、元気なあいさつ」運動を展開し、市民満足度の向上及び職員の一体感を図り、「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」を目指します。

### 主な取組

- ・区自治協議会との協働
- ・コミュニティ協議会との協働
- ・質の高い市民サービスの提供
- ・区独自の人材育成事業の推進

	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	4
取組結果	<p>区自治協議会及びコミュニティ協議会との協働を推進するため、区自治協議会広報紙の発行支援、コミュニティ協議会への事業支援、及び講座・研修会等の実施は、すべて目標を達成しました。</p> <p>質の高い市民サービスの提供に向け、窓口改善活動の実施やスキルアップを目的とした業務に関する研修の受講により窓口アンケートの目標値を達成しました。</p> <p>区独自の研修については、全体の実施回数は目標を下回りましたが、1回当たりの受講者数を増やし、時間を延長して内容の充実を図りました。</p>				
今後の方針	<p>今後も超高齢社会への対応を中心に、さらなる自主的・主体的な地域活動のニーズが想定されることから、引き続き、部会の運営支援や委員研修等による区自治協議会の活性化に取り組むとともに、コミュニティ協議会の活動支援、自治会研修、地域活動への関心を高める講座を開催していきます。</p> <p>また、職員一人一人の相手の立場に応じた分かりやすい説明やロビーでの早めの声掛けによる待ち時間の時間短縮など、窓口対応の充実に努め、市民サービスの向上を目指していきます。</p> <p>「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」のため、引き続き接遇に関する研修を行うとともに、西区独自の研修を継続して実施し、職員の資質向上・意識改革に向けた取組みを進めます。</p>				